

かえる倶楽部タイムズ

特集 「高齢者の急性骨髄性白血病(AML)治療 up to date」

高齢者のAMLは、骨髄異形成症候群(MDS)から進展するケースが多くみられます。

MDSの予後を改善することが証明されているアザシチジン(商品名:ピダーザ)が、最近、AMLの治療にも適応が認められました。

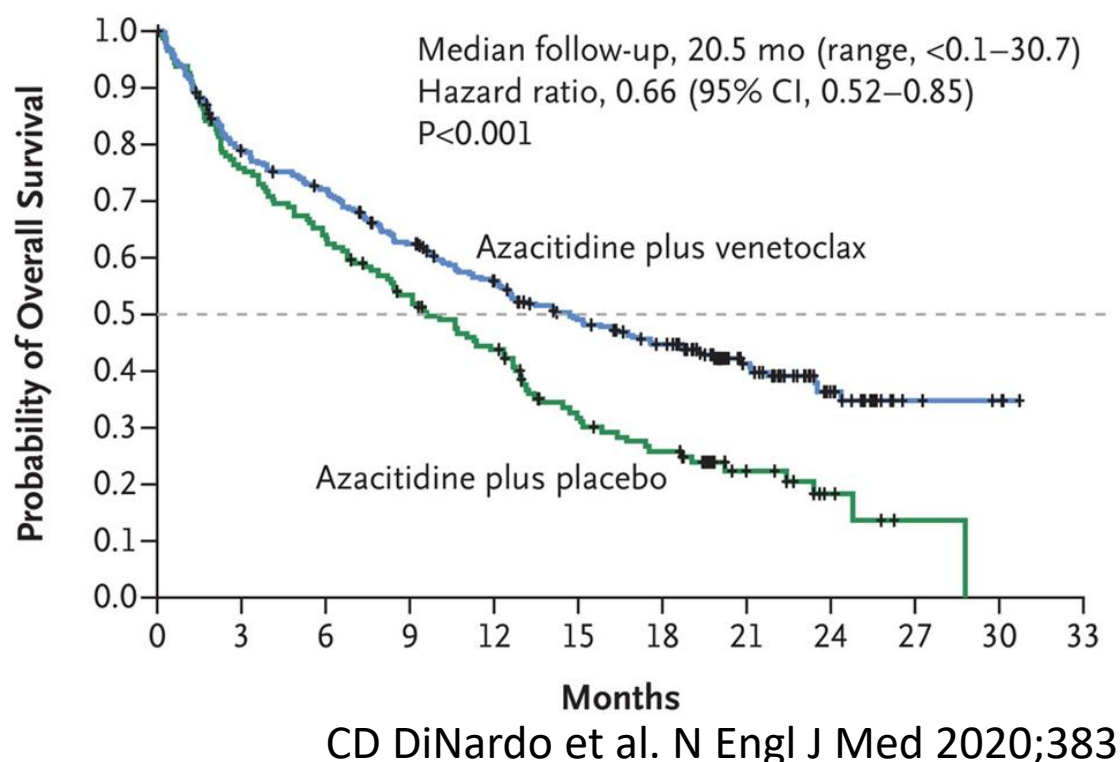
さらに、AMLの白血病細胞で発現が亢進しているBcl-2蛋白に対する阻害剤、ベネトクラクスを併用することで、一層、生存期間の延長が期待できることが分かりました。

ちなみにBcl-2蛋白は、抗アポトーシス(プログラムされた細胞死)作用を持つ蛋白で、白血病細胞の増殖を促進することが知られています。

関西電力病院
血液内科

部長 平田 大二

日本血液学会専門医・指導医
 日本内科学会認定医
 日本造血細胞移植学会(造血細胞移植認定医)
 京都大学 臨床教授
 細胞治療認定管理士
 【所属学会】
 日本輸血・細胞治療学会、日本癌学会



図の説明

年齢中央値76歳の初発AML患者を対象としたアザシチジン(脱メチル化阻害剤)単剤群 VS アザシチジン+ベネトクラクス(Bcl-2阻害剤)併用群の比較にて、ベネトクラクスを併用することで生存期間中央値が9.6か月から14.7か月に延長しました。

関西電力病院血液内科では、血液内科専門医4名の体制にて、高齢者のAMLやMDS治療を積極的に受け入れています。鉄剤やビタミン投与にて改善しない貧血や血小板減少では、MDSが背景に存在することが多くあります。お困りの症例ありましたら、ご紹介よろしくお願いたします。

【地域医療連携室】 平日 8:30~19:00、土曜日 8:30~12:00
 TEL 06-7501-1406 FAX 06-6458-0347

お知らせ 「総合診断科」のご案内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。

【ご紹介頂く対象となる患者様】

不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。

当院病院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

【診療日程】 火曜日(午前)

◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

